

指定校番号	31025	学級活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立磯松中学校	校長	竹原 弘長	生徒指導主事	占部 智之
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『生徒会活動の充実』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	2	「協働する力」	1	「主体性」	3

取組のねらい

- 異年齢集団での活動を通して、リーダーシップの育成を図るとともに、コミュニケーション能力や協働する力を育む。
- 学校と地域との関係を深め、生徒が主体的に行動する態度を育む。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『人との交流』
----------	--------------------

- 新入生入学説明会
 - ・入学前の新入生に向けて行う学校説明会の司会，進行を生徒会執行部が行う。
- 生徒会委員会
 - ・委員会ごとに生徒会執行部と連携し，目標を立てる。実践する。点検，反省する。対策を練る。
- 生徒総会
 - ・全校生徒で学校生活をよりよくするために生徒会スローガンの具体的な取組，課題を考える。
- 環境ボランティア活動
 - ・中学校区の2小学校と連携し，地域の清掃を行う。
 - ・PTAと生徒が連携し中学校内の環境整備，トイレ掃除を行う。
- 磯松花咲かせ隊
 - ・部活動単位でプランターに花を植え，地域の事業所に配る。
- 朝のあいさつ運動
 - ・部活動単位で正門で朝のあいさつ運動を行う。
- 新入生部活動体験
 - ・生徒会執行部が司会，進行を行い，小学校6年生を対象とした部活動体験活動を行う。
- 地域交流・門松づくり，ぜんざいづくり
 - ・地域の方に協力していただき，門松づくりとぜんざいづくりを行い地域との交流を図る。

異年齢集団で活動することにより，それぞれが置かれた状況や立場により，多様な経験ができる。

例えば，リーダーとして集団を引っ張る場面，集団の一員として協働する場面等，他者とコミュニケーションをとる中で認められ，自己有用感を高めることができ，主体性を育むことができる。



取組の成果と課題

生徒会執行部の生徒は，学校のリーダーとしての自覚と責任を持つことができた。それぞれの取組が目に見える形で残ることにより，自己存在感を高めることができ，学校評価アンケートにおける肯定的評価につながったと思われる。

【学校評価アンケート（12月）より】

項目	肯定的評価
部活動に意欲的に参加している。	92.0%
体育大会，文化祭などの行事に主体的に取り組んでいる。	90.9%
校内緑化活動，美化活動，ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	68.1%